

中川区将来ビジョン（案）に対する区民意見の内容及び区の考え方

中川区将来ビジョンの策定にあたり、案に対する意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

お寄せいただいた意見の概要と、それに対する区の考え方は以下のとおりです。

1 第3章 中川区の現状と課題

(1) 中川区の現状に対する表記方法について

意見	犯罪件数、交通事故件数などについて、「16区中〇番目に多い」という言い方をしているが、人口千人当たりなど人口の多さを考慮して他区と比較すべきである。
考え方	犯罪認知件数、交通事故発生件数につきましては、人口千人あたりの発生件数で比較した場合、中川区の16区中の順位は総数で比較するよりも下がることは承知しております。 しかし、将来ビジョンにおきましては、区内における犯罪認知件数・交通事故発生件数の総数が他区に比べて多く発生しており、それらを減少させていくための取り組みを重点的に進めていくという趣旨で「16区中〇番目に多い」という形で掲載をしております。 <p style="text-align: right;">(企画経理室)</p>

(2) 高齢者の移動手段等について

意見	「現状」に「買い物をする店や医療機関が近隣になくなってきており、車等の移動手段を持たない高齢者が移動を伴う行為に困難が生じている」を追記する。 また、「課題」に「買い物難民対策と医療機関の充実、新たな移動手段の提供」を追記する。
考え方	「移動に困難が生じている方」に係る支援は大変重要なものですが、それらの定義が難しく「現状」及び「課題」に追記することは難しいと考えております。 中川区の一部地域において「移動販売車の誘致やボランティアによる買い物支援」、「地域の要請を受けて介護施設が実施するデイサービス車両を活用した送迎」が実施されています。 また中川区としても、そういった区内の生活支援サービスの活性等を図るため、「地域で日常生活を送るために必要なサービス」や「お互いに助けあう地域の取り組み」等を「自助・互助・公助」の観点で整理した「なかがわ人生の達人帖～高齢者生活支援ガイドブック」を作成し、配布しております。 また、新たな移動手段の提供については、関係部署にお伝えします。 <p style="text-align: right;">(福祉課)</p>

2 第4章 中川区の将来像 安心・安全きれいなまち

(1) 「自助」、「共助」、「公助」について

意見	防災についての記載で、「自助」、「共助」は書かれているが、「公助」が書かれていない。「公助」が基本で、その組み合わせの中に自助や共助があると思う。
考え方	本市では、災害対策実施計画において、「地域防災力の向上」を災害対策を推進するための取り組み方針に掲げ、住民の皆様の防災にかかる取り組み（自助・共助）を支援（公助）しているところであります。 (総務課)

(2) 災害情報等に係るメール化、安否確認プラットフォームの提供について

意見	災害情報や小中学校情報のメール化を行い、安否確認もそれで行う。また災害に強い無線低速通信網を整備する。市や区として欲しいのは、そのような「場（プラットフォーム）」の提供である。
考え方	災害時において、情報通信技術（ICT）を活用した情報伝達・共有は重要であり、市民の皆様には適切な避難行動につなげていただきたいと考えています。 公費による端末の配布は難しいものの、地震や大雨などによる災害時の避難に関する情報などをメールでお知らせする「きずなネット防災情報」や、名古屋市内及び周辺部の雨量や河川水位の状況などを確認することができる「名古屋市水防情報システム」など、パソコンやスマートフォンなどの端末を利用した災害情報の配信に加え、災害用伝言ダイヤルの活用も安否確認には有効な手段と考え、周知に努めてまいります。 また小中学校情報のメール化については関係部署にお伝えします。 (総務課・企画経理室)

(3) 町内への街灯防犯カメラ設置の支援について

意見	町内への街頭防犯カメラ設置を支援する。
考え方	<p>中川区では犯罪の発生を抑制するため、地域や警察等と協力して防犯パトロールや防犯啓発活動などに取り組むとともに、令和元年度には希望のあった地域に防犯カメラ28台を設置したところでした。</p> <p>また、名古屋市には町内会・自治会等が防犯カメラを設置する際に活用いただける街頭犯罪抑止環境整備事業補助金もあります。引き続き、ハード面の整備・支援をするとともに関係機関との連携を密にし、安全で住みやすいまちづくりに取り組んでまいります。</p> <p>(地域力推進室)</p>

(4) クリーンキャンペーンの参加人数について

意見	「クリーンキャンペーンの参加人数」の成果指標が直近の現状値9,727人に対して、目標値10,000人は少ない。
考え方	<p>クリーンキャンペーンにつきましては、地域住民や市民活動団体等とともに清掃活動を実施しているところです。引き続き各団体との連携を図るとともに、区政協力委員協議会等において地域住民の参加を促すことにより、参加者の増加に努めてまいります。</p> <p>(地域力推進室)</p>

(5) クリーンキャンペーン及び河川の清掃活動について

意見	<p>クリーンキャンペーンでは地域の責任者にジャンパーを貸し出し、活動を盛り上げる。</p> <p>また区内の7つの川の清掃活動を年2回行い、川沿いに区の花ハボタンと桜を植える。</p>
考え方	<p>クリーンキャンペーンにつきましては、地域住民や市民活動団体等とともに清掃活動を実施しているところです。いただいたご意見を参考にして各団体との連携を図るとともに、市民・企業・行政の協働による取り組みを推進してまいります。</p> <p>なお、河川管理に関わることについては、土木事務所にお伝えします。</p> <p>(地域力推進室)</p>

(6) ペットの飼い主マナー向上に関する具体的な成果指標の設定について

意見	<p>イエローチョーク作戦、なごやかキャットなどペットに関連する具体的な指標を設ける必要がある。</p> <p>また、「快適な環境づくりへの取り組みが進んでいると思う区民の割合」は指標としては抽象的すぎないか。</p>
考え方	<p>将来ビジョンの成果指標につきましては、それぞれの取り組みについて、毎年度実施する区民アンケートの結果を主観指標として設定するとともに、区民と協働して実施する取り組みなど代表的な取り組みの結果を客観指標として設定しております。</p> <p>「快適な環境づくりへの取り組みが進んでいると思う区民の割合」は、上記のうち主観指標として設定したものととなります。</p> <p>また、ご指摘のイエローチョーク作戦やなごやかキャットの啓発については、毎年度作成する区政運営方針の中にもりこみ、その目標としてご指摘のイエローチョーク作戦などを含めた各種キャンペーン等の啓発活動の実施回数としてあげております。</p> <p>(保健センター健康安全課)</p>

(7) 高畑市場跡地の利用と周辺企業の移転について

意見	<p>高畑市場跡地の利用を進めるとともに、周辺の企業所の移転を進める必要がある。</p>
考え方	<p>いただいたご意見については関係部署にお伝えします。</p> <p>(地域力推進室)</p>

3 第4章 中川区の将来像 みんなにやさしいまち

(1) 子どもやお年寄りの見守りについて

意見	<p>キーホルダーなどと一緒に簡単に身につけられるGPS機能付きの小型スマホやSIMフリー対応の格安スマートウォッチを配布すれば子どもやお年寄りの見守りがしやすくなる。</p>
考え方	<p>名古屋市では、GPSを活用した見守りとして「はいかい高齢者検索システム事業」を実施しています。これは、認知症の人が行方不明となった場合に、認知症の人を捜索する親族等が早期にその位置情報を把握することができるよう、名古屋市に登録した事業者のGPS機器の利用に係る一部経費を助成する事業です。</p> <p>中川区としましても、引き続きこれらの事業などの普及啓発に努めてまいります。</p> <p>また、今回いただいたご意見については関係部署にお伝えします。</p> <p>(福祉課・企画経理室)</p>

(2) 区民の健康について

意見	施策2-3の「健康でいきいきと暮らせるまちづくり」は、高齢者の健康に限定しているのか。
考え方	<p>中川区では、区民の皆さまの誰もが健康でいきいきと暮らせるまちをめざして施策に取り組んでまいります。「施策2-3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり」の取組についても、高齢者だけに限定するものではございませんが、そのことがよりご理解いただけるよう下記の通り本文の一部を修正いたしました。</p> <p>(修正前)</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けられるよう「地域包括ケアシステム」の深化・推進等に努めます。あわせて、外出や仲間づくりの機会を充実させ、地域での生きがいづくりを支援します。</p> <p>また関係団体と連携し、障害者の地域生活支援の充実や障害の理解の促進に努めるなど、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを進めます。</p> <p>(修正後)</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けられるよう「地域包括ケアシステム」の深化・推進等に努めます。あわせて、外出や仲間づくりの機会を充実させ、地域での生きがいづくりを支援します。</p> <p>また関係団体と連携し、障害者の地域生活支援の充実や障害の理解の促進に努めます。</p> <p><u>さらに、健康教室・健康相談の実施やがん検診の普及啓発を進めるなどを通じて、区民の皆さま誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進めます。(※下線部分が修正箇所)</u></p> <p>(保健センター保健予防課)</p>

(3) 子どもの受動喫煙対策について

意見	施策2-3の「健康でいきいきと暮らせるまちづくり」に、子どもの受動喫煙対策をあげるべきではないか。
考え方	<p>「子どもの受動喫煙対策」については、名古屋市において「子どもを受動喫煙から守る条例」を制定しました。中川区においても、市役所の関係部署と連携しながら進めてまいりたいと考えております。</p> <p>(保健センター保健予防課)</p>

(4) 特定健康診査の受診率について

意見	施策2-3の「健康でいきいきと暮らせるまちづくり」に、特定健康診査の受診率をあげるべきではないか。
考え方	特定健康診査につきましては、名古屋市において特定健康診査等実施計画が作成され、受診率向上の取り組みが全市的な観点から行われているところです。いただいたご意見につきましては、当該実施計画作成の参考として、関係部署にお伝えします。 (保険年金課)

4 第4章 中川区の将来像 魅力あふれるまち

(1) 中川区の魅力の活用について

意見	中川区は中川運河などの多くの観光資源を持っているのにうまく使われていない。区民に親しまれるような取り組みが必要である。具体的には、中川運河の運河側から見た景観をよくする工夫をする、松重閘門の周辺を整備し、ミニ花火大会やプロジェクションマッピングなどのイベントを行う、前田利家・まつ・前田慶次に関する区民参加のイベントを行う、荒子観音周辺に案内看板を整備するなどを検討したらどうか。
考え方	ご意見をいただいたとおり、中川区には、中川運河を始め、前田利家ゆかりの史跡が数多く残り、ものづくりや農業が盛んであるなど様々な魅力があり、中川区としましても、それらの魅力をさまざまな機会を通じて、積極的に情報発信をしております。 令和元年度には、「なかがわ・利家ルネッサンス」と銘打って、前田利家の魅力再発信事業を推し進めることによって、前田利家生誕の地をPRする基礎を整えることができました。今後も、中川区を訪れば、利家ゆかりの地やゆかりの商品がたくさんある、そのようなイメージの普及浸透を図っていきます。 また、中川運河の取り組みについては関係部署にお伝えします。中川区としましても、中川運河に関する魅力を効果的に取り上げ、発信していきます。 今後とも、いただいたご意見を参考にしながら、まちの魅力の発掘・発信に努めてまいります。 (地域力推進室)

(2) 中川区の魅力発信等について

意見	<p>道路等の清掃活動が続けるためには自治会・町内会での活動も大いに役立つと思うが、加入率の減少もあり、周辺環境を放置するケースも考えられる。価値観の違う人たちとの共生・共助の意識改革を行う必要がある。</p> <p>まちの姿をより具体的にするため、「日本一〇〇のまちづくり」を合言葉にすることも良いかと思う。官民から意見を持ち合い、会議体を作り、時間をかけた基本計画の策定が必要である。</p> <p>他地区の取組も参考とし、佐屋街道の一部である八幡本通りを特区として変革していくなど、日常の生活空間を変え、区外からの訪問客を増やし、中川区の活性化を図る。</p>
考え方	<p>中川区では、町内会・自治会への加入を促進するため、区への転入者等へのチラシ配布等を通じて町内会・自治会に関心を持っていただくとともに、町内会・自治会に加入するメリット等を周知することで、地域コミュニティの活性化を図っているところです。</p> <p>また、区民の皆さまからの意見につきましては、区民会議や区民アンケート等を通じて収集するなど把握に努め、区が主体的に実施する施策等の参考としております。</p> <p>さらに、中川区の活性化につきましては、中川運河、前田利家ゆかりの史跡が数多く残る、ものづくりや農業が盛んであるといった中川区の魅力をさまざまな機会を通じて、積極的に情報発信をしております。</p> <p>令和元年度には、「なかがわ・利家ルネッサンス」と銘打って、前田利家の魅力再発信事業を推し進めることによって、前田利家生誕の地をPRする基礎を整えることができました。今後とも、中川区を訪れば、利家ゆかりの地やゆかりの商品がたくさんある、そのようなイメージの普及浸透を図っていきます。</p> <p>今後とも、いただいたご意見を参考にしながら、区の活性化に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(地域力推進室・企画経理室)</p>

5 第5章 めざすまちの姿の実現に向けて

(1) 町内会活動等のWEB化について

意見	町内会の回覧板の電子化・WEB化、町内会活動のWEB化をする。
考え方	町内会・自治会は地域住民が自主的につくる自治組織ですが、一部の学区や町内会・自治会ではホームページ等を活用した情報発信をしているところです。区において、そのような特徴的な取り組みを他学区等で情報共有するなど、地域活動の活性化に努めてまいります。 (地域力推進室)

6 参考 中川区に関する各種資料等

(1) 中川区の人口の推移について

意見	中川区の将来の人口は減少するとしているが、西部の富田地区は増加が見込まれているので、一律に表記せず、富田地区のことを別にして表記をするべきではないか。
考え方	本ビジョンに掲載する「中川区の人口の推移」の出典である「名古屋市将来人口推計（名古屋市総務局統計課作成）」におきましては、区単位での算出までは行っておりますが、支所管内や学区単位での算出は行っておりません。人口の推移は一律ではなく、地域によって差異があるものと理解しておりますが、以上の理由から中川区全体の将来人口についてのみの記載としております。 (企画経理室)